

令和5年度第3回 北海道留萌管内地域公共交通活性化協議会

日 時：令和5年（2023年）12月20日（水）13：30～

場 所：オンライン

出 席：別紙名簿のうち、森島委員、福原委員、岡部委員欠席
田村委員（堺田補佐）、村山委員（長谷川課長）及び
加茂委員（高島専門官） 代理出席

開会挨拶

→ 上坂会長より挨拶

1 北海道留萌管内地域公共交通計画の変更について 資料1

→ 冒頭阿部より、本日協議会が14名出席により、成立要件を満たしていることを報告。
→ 異議なく承認。

2 目標達成状況のモニタリングについて 資料2-1

(各路線バス運行状況) 資料2-2

→ 阿部より資料に基づき説明。人口減より急なペースで利用者減が続いていることを補足。
→ 引き続き、目標達成に向けモニタリングを続けることについて一同了。

3 令和5年度事業の進捗及び見込みについて 資料3-1

(とりまとめ一覧) 資料3-2

→ 阿部より資料に基づき説明。各市町村該当部分について、適宜各委員より補足説明。
→ 引き続き、取組を続けることについて一同了。

4 令和6年度事業の考え方について 資料4

→ 阿部より資料に基づき説明。モビリティマネジメント、観光客誘客及びドライバー確保については、エリア内フリーきっぷとの連動など新しい切り口で事業を再構築したい旨説明。
→ 異議なく承認。

5 留萌地域生活交通確保対策協議会との統合について 資料5-1

(道交通企画課資料) 資料5-2

→ 阿部より資料に基づき説明。実効性を担保しながら効果的な協議会体制を図るため、地域協議会と統合した運用について協議。
→ 異議なく承認。

6 その他

→ 各委員より、この間の状況や当面する問題点等について情報提供あり。

(留萌市)

⇒ 市の交通計画の策定は JR 留萌線廃止の影響で遅れているが、R6 策定目指し作業中。

⇒ 高齢者に対する割引制度は R6 も継続したいと考えており、準備中。

(増毛町)

⇒ 11/13 からのあっぷるハイヤーの夜間運用実証は来年 3 月までとしているが、利用もあり来年度以降も実証試験したいと考えている。

(小平町)

⇒ フィーダーの計画策定中。アンケート結果の取りまとめ中。

⇒ バスの利用者は低迷しているが、冬季には一定のニーズあり。部活の移動手段確保も大きな課題であり、留萌市と一緒に考えていければ。

(苫前町)

⇒ 上平古丹別線のフィーダー系統補助も視野に、R6 での交通計画を視野に準備中。

(羽幌町)

⇒ 利用の少ない路線について、対応を検討中。

⇒ 今年度運輸局実施の天売焼尻航路に係る交通調査事業について、協力するとともに成果を活用したい考え。

(初山別村)

⇒ しょさまる号の利用は順調。状況把握しながら維持を図っていききたい。

(遠別町)

⇒ フィーダーの計画策定中。今月 27 日の協議会で原案示せる予定。

⇒ 利用券など継続し、町民の移動手段の確保を図っていく。

(天塩町)

⇒ マイナンバーをデジタル化した媒体(仮 町民パスポート)を活用し、タクシー継続につながる事業を検討中。交通とデジタル化のミックス施策として、全員協議会で説明済み。

(JR 北海道)

⇒ 廃線後の代替交通確保として、留萌市を通じて事業者にも支援が届いていると認識。鉄道では運転者に加え保守要員も不足。苦労は理解。

(沿岸バス)

⇒ (大雪に係る運行体制の連絡)

⇒ 利用者数が少ないなど、見直しが必要な路線については、今後も関係市町村にご相談しながら対応していく。

(北海道中央バス)

⇒ 運転手不足が深刻、どの路線も例外なく事業縮小せざるを得ない。

⇒ 補助金を減少する目標となっているが、地域交通の維持という観点からは必ずしも合致していないのではないかと。

(旭川地区ハイヤー協会留萌部会)

⇒ 運転手不足は深刻。留萌深川間のデマンドや福祉施設の送迎など固定業務は有り難いが、運行体制の維持は厳しい状態。

(旭川運輸支局)

⇒ 補助制度のわかりやすい案内ができればと考えている。詳細はまた相談する。